

## アマゾン撃滅の聲 遂に民間で爆發

堀口氏招宴の席亂さる

アマゾン陣も主張する事殆どで、既成の全業界でそれ等の心臓を総合すると、アマゾン當源の開発は將來必然的に要求せられる時代が来るかも知れぬが、現在ではそのは絶對的なものではない。従つ

志を招待して扶羽の安を祝ふ。移に次いで占谷氏の關屋終る。次いで起つてマソニン移民が、扶羽に傳達して欲しいと、扶羽の熱懶がほとばしり、列席の者も皆奮起し拍手相撲にいづれも喜んで手を叩いて激論する。マソニン問題の重大性に痛く、歸宿後深夜の状況を詳細に記す。

上塚 司氏を中心とする新會社に補助せんとするが、向かふ政府にあると聞き、一脇身を拂ひ難いしめ當れば、奥寒より坂元靖、多羅右衛門、前田節事等の人々も出聖、列席してゐたので開會並満座の有志と之等の奥地職者の間にアマゾン問題に就ては、誰せられてゐた所、挨拶に入る者及び左の人物から火の櫻など反對論が出て、一時は市毛總督事、淀川領事は退場を余儀なくされるに至つた程である。黒石謙、高岡博士、多羅前田領事、明神穗吉の諸氏が送別の辭中並に於けるアマゾンの

同人語 白水老  
　　同仁會總會 報告を讀む  
　　(上) 月報三△ンののの月

日本新  
聞

Conde de Sarzedas, 16  
C. P. 2273 — Tel. 2-746  
M. G. — PA XII Q

新潟市コロナ・  
サルゼーダス館

らぬのさ」とて今更に  
事、淀川領事、  
江越勸業部主事、  
外書記生、拓殖  
新聞に入つた。  
出席者は左の如  
用中（南拓）

宇佐  
原口領  
仕・加藤  
務技手等  
この時  
通りであ

ア  
川、中  
つた。  
民潤保  
全部が  
毛総領  
容を語  
會議の  
は別項  
附せた  
の論点

結果を開して  
られてゐる事を  
本紙二頁掲載  
てよつて判然

ては秘密を  
各人の主張  
の出席を  
としやう。

。余の懼れで  
義であつて、  
二百万入りで  
來た聯合的  
大公に充分で  
、在米日本本  
夢を形成して  
陥りはせぬ。

となるのは帝  
村經伯國の二  
以上の集團地  
跡は北美の財  
上あるにも拘  
人が其の最大  
と心配する

國地の蓄積を持ふ  
伯の諸侯他國に至つた。  
技術上、財政上、  
てゐる。  
履々経済は彼等が  
めたと云ふ。

日本政府は國民にも模倣され  
國政上の助力を  
へば如く余  
ふ證據の見

の意早	要與へ	彼等に	は在	慣は在
る迄	始	十四日	一ザ・	吸リ才
化	首領、	れば我	ト	シテ
る	進行	ト	ト	シテ
大問題				

ソブリーニーは、ハーバード大  
学で問題を研究し、ハーバード大  
学のリオ・エリス准教授によ  
りオの聖州選出の労働大臣と  
なる移民招致

販賣長官ビ  
ヨ氏は去る  
氏の言によ  
る好都合  
在中の聖州  
選出立憲黨  
會談聖州の  
致の方法を

新持のよ  
新しい女  
サ

給さんの  
一ビスマ

従業員の問題

# 廣

大な御引立を  
半

口  
辱して参りま  
は今回左記の  
なりました。

通し

卷之三









